

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 生推-09 文化・教養施設整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門				ザイムスコード及び個別事業名	
					1078	計画策定業務
主管課	文化・教養施設整備担当		関連課	みどり課、生涯学習課、文化財課		
分野名	歴史環境・文化					
目標 (目標値)	民間資金を活用しつつ、鎌倉らしい文化の薫り高い文化・教養ゾーンの実現をめざす。 ①民間資金活用型事業プロポーザル実施のための検討 ②具体的な土地利用の検討					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	4,020千円	0千円	指標と評価 指標 評価 ◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退 目標値 実績値		
	(国・県)					
	(負担金等)					
	(一般財源)	4,020千円	0千円			
	人員配置数	2.0人	2.0人			
	人件費	17,695千円	17,584千円			
	協働の パートナー					
事務事業 運営経費	総事業費	21,715千円	17,584千円	20年度		
	市民1人当 りの経費	123円	100円	21年度		
	対象者1人 当りの経費			22年度		
ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					23年度
						最終年度 (年度)
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1) 公共施設の配置計画 (2) 民間活力の導入 (3) 事業化に向けての実施体制				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 野村総合研究所跡地整備の見直しを行い、鎌倉博物館については、出土遺物の整理、保管、調査 研究に特化する機能として、生物科学研究所新館を活用して、「埋蔵文化財センター」を整備する。 生物科学研究所旧館は解体撤去し、その敷地を鎌倉博物館の用地とする。				
	未解決の 課題・問題 点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 博物館整備用地を除く未利用地の活用については、全庁的な視点からの検討を進めていく必要が ある。				
	今後の方 針(対応・ 改善)	鎌倉美術館の整備については、第2次基本計画期間中に市内の適地の検討、あるいは市内既存施 設の活用可能性について検討を行い、第3次基本計画の早い段階で整備に向けての事業化を図 る。 平成24年度を目途に、美術品収蔵施設(収蔵庫)を整備する。				
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	寄贈を受けて以来、市民からの意見を踏まえながら跡地の活用について検討を重ねてきている。今後も財政負担の軽減を目指しながら、跡地利用方法等について検討を重ねていく。		評価結果	改善の必要性	今後も財政負担の軽減を図りながら、跡地利用方法等について検討を重ねていく。
D	無			D	無	
課長名		宮崎 淳		部長・部長名		植松 芳子